

粹人 石屋の多趣味人生

その185

現場報告



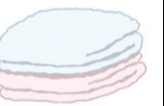
※改装工事が完了した薬師山の物件です。

《現在進行中物件の一部です》

- ★薬師山の物件（新築）
建築確認図面作成中です。
- ★鳴滝の物件（リノベーション）
内部の解体工事が終了しました。
- ★伊那の物件（リフォーム）
現場打ち合わせへ行ってきました。
- ★大宮の物件（リフォーム）
プラン提出しました。
- ★生駒の物件（新築）
自治会との協議中です。
- ★梅津の物件（リフォーム）
工事依頼承りました。
- ★桂の物件（リフォーム）
見積書作成中です。
- ★南丹の物件
現地調査に行ってきました。
- ★紫竹の物件
見積作成中です。
- ★薬師山の物件（リフォーム）
内部の改装工事が完了しました。
- ★桂の物件（リフォーム）
マンションリフォームを承りました。

洗濯機

石屋紀次



この度自宅の洗濯機を入れ替えました。前のが壊れた訳ではないのですが、当初今津で生活する予定では無く、簡易に一番安い洗濯機を購入していたのですが、乾燥機能の付いたものが欲しくなり、思い切って買い替える事にしました。

近所の大型の電気屋さんに行っただけですが、まずびっくりしたのがお値段。今回はドラム式の物と決めていたのですが、いいものは四十万を超えているんですね。せいぜい二十万円も出せばいいものがあると思っていたため断念して帰る事に。二、三日悩んだ末、どうしても乾燥機付きの物が欲しかったので再度電気屋さんへ。

今回は慎重に選びたかったので、店の人に細かく機能の説明をしていただきました。まず乾燥機能について、ヒーターとヒートポンプの区別がありどう違うのかを確認。店員さんは的確に、普通の電熱とエアコンの違いですと教えてくれました。ヒートポンプは湿気を取りながら低温で乾燥してくれるので、電気代が安く済む事と、衣類をそれほど傷めないとの事。これはヒートポンプがいいなと決定。あと、最近の物は温水で洗ってくれるので、温水を引く必要が有るのか尋ねると、洗濯機で温水を作るので、温水を引く工事は必要ないとの事。いろいろと確認して一台を選びさっそく家に

設置していただきました。ちょっと高かったのですが、すごくいいですね。洗濯物がふんわり仕上がりが、特にバスタオルは最高です。

ここで気が付いたのは、毎朝スイッチを押して出かければ、帰った時には仕上がっています。と言う事は、服は二着あれば全てが完了すると言う事。下着も全て二着です。これはすごいです。いろいろな服がいつばい出そうです。

タンクもスラスカになりそうです。



香りの記憶・音の記憶

村田 真由美



少し前、金木犀のいい香りがしていました。家庭のお庭や公園などあちこちに咲いていました。

私が結婚するまで住んでいた実家には金木犀の木がありました。母が好きで植えたそうなんです。金木犀の香りがすると、小学生の頃、花を摘んで筆箱に入れて、学校に持って行っていたことを昨日のことのように思い出します。その入れていた筆箱まで鮮明に思い出します。

誰でもあることだと思うのですが、香りと同じように、昔に聴いた音楽がふと耳に入ってきた時にも、その音楽を聴いていた当時のことを思い出します。音楽は、好きで聴いていたアーティストの曲、カラオケで歌っていた曲、CMで流れていた曲、友達が好きで一緒に聴いていた曲、色々なパターンの色々な場面を思い出します。昔のことを思い出して懐かしむ歳になったんだなあ...と思ったりしています。

先週、一日で45個の花が咲きました。



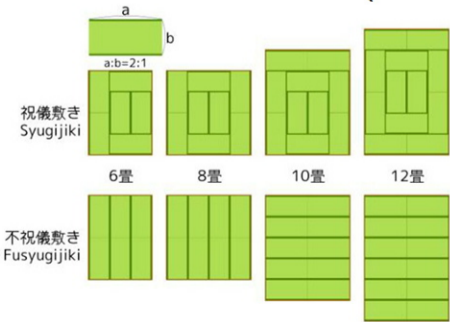
畳の敷き方

江戸時代から、畳の敷き方には祝儀敷き（吉）と不祝儀敷き（凶）の二通りがありました。祝儀用の六畳間を基本の形とし、八畳・十畳・十二畳と敷きます。祝儀敷きは現在一般的に使われている敷き方で、本来は婚礼や祝いの敷き方です。畳の敷き目が十字路の目（四つ辻）にならないように敷く敷き方です。不祝儀敷きは、葬儀時の敷き方でした。畳はその都度、祝儀敷きから敷き替えていきました。現在ではその様な習慣はなくなりましたが、寺院の和室や大広間で使用されています。前回の畳の敷き方の誤りは、床の間に對して畳の縁を直角にして敷いてはいけません。

高野 圭亮



安田 裕



晴れ



高野 圭亮

気象庁では空全体を雲が占める割合を雲量と呼んで、天気を判別しているそうです。

日本の雲量は0から10までの11段階に分けられています。雲量が0から1は快晴、雲量が2から8は晴れ、雲量が9から10は曇りだそうです。

晴れの予報には、青空がたったの2割しかない場合や、青空が薄い雲で遮られてしまっとうっすら影が出る場合の薄曇りも晴れに含まれているそうです。思っているよりも晴れの範囲が広いなと思いました。

子供のとき、ほとんど青空を見ることが少ない土地だったので、雨が降らなければ晴れだと思っていました。

